



# 浜風だより

## 新年のごあいさつ

浜崎の皆さま あけましておめでとうございます。平素は「浜崎しつちよる会」の事業に対しご理解、ご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

当会が活動を始めて今年で25年となります。その間、徐々にではありますが町並みが整備され守られて、最近では新しい動きもみられ、浜崎を散策される方が増えてきているように思われます。私たちは、これからも5年先10年先を見据え、浜崎の皆様とともに活動していく所存です。今後ともお力添えを頂きますようお願い致します。厳しい寒さが続きますが、ご自愛され良い一年をお過ごしください。

浜崎しつちよる会 会長 小茅 稔



### 浜崎伝建物語 41

雁島と姥倉運河 (その二)

かつて松本川の中に、雁島(現在の日本果実工業萩工場のあたり)と呼ばれる島があったことは、以前にお話をしました。やがて、雁島は明和6年(1769)から始まる開作(埋立て)により周囲が埋め立てられ、現在の新川(「新川」と呼ばれるのは、近代に入ってからだいたい経ってからのこと)周辺の土地が出来上がり、無田ヶ原からこのエリアにかけて、発展する城下町に食料を供給する農地として機能したようです。

一方において、この開作は大事な農地の確保と引き換えに、松本川河口付近の川幅を狭めることになり、ただでさえ砂の堆積が絶えない浜崎近辺での川の流れは滞り、たびたび城下町へ洪水をもたらすようになりました。水の流れをよくするためには河口を広げればよいのですが、松本川の河口は浜崎と鶴江が対峙していて広げることができません。そこで、幕末の安政2年(1855)に、松本川の水を小畑方面に逃がすために開削されたのが姥倉運河です。

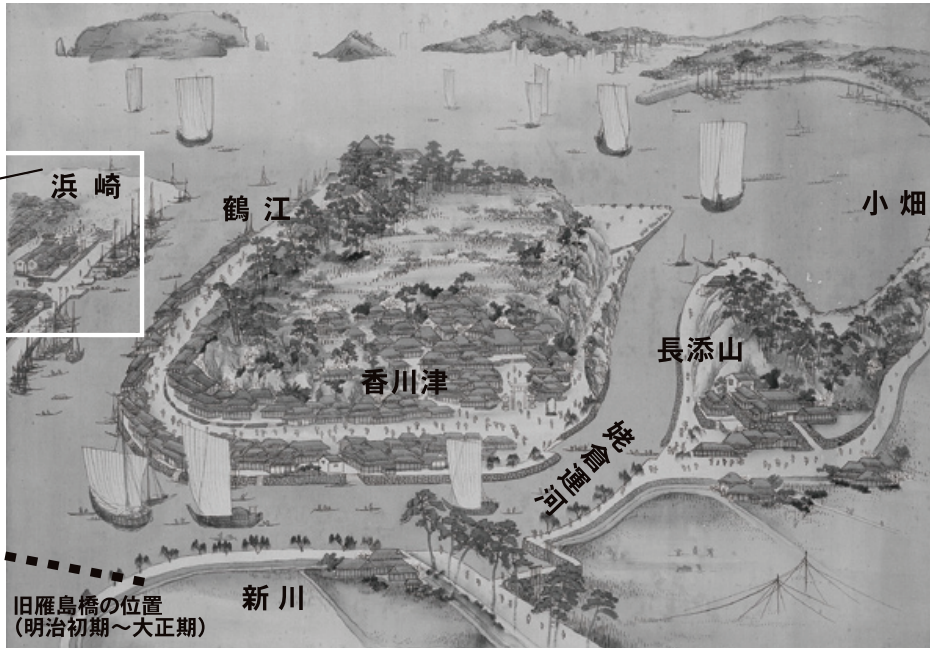
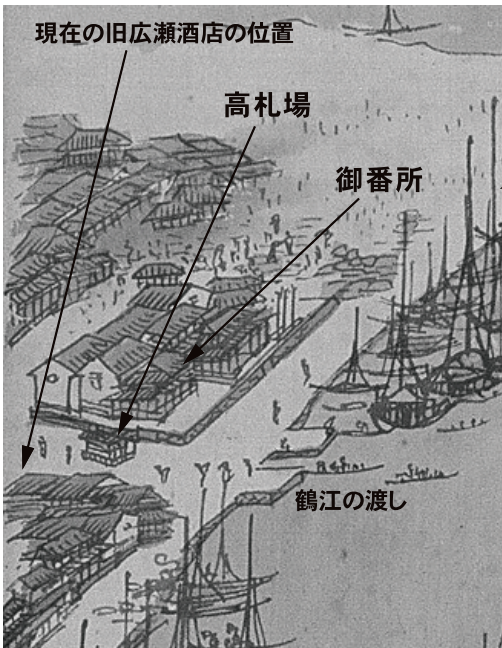
当時のこの辺りを詳細に描いた絵図を眺めてみましょう。この絵図は、ちよつと誇張して描かれています。図の手前が新川、中央の島状のところが、香川津から鶴江、左端に描かれているのが浜崎です。わかりますか？

ご覧のとおり、この時代の新川は一面が水田や畑であるのと対照的に香川津から鶴江にはたくさんの方屋などが建ち並び、大いに繁栄しています。右側に渡し舟が描かれていますが、もちろん姥倉運河ができるまでは陸続きであったわけで、小畑から長添山の麓を通り、香川津、鶴江、そして鶴江の渡しで浜崎に至るルートが当時の海沿いの主要ルートであったことがよくわかります。

浜崎の方に目を向けると、二つの突堤が描かれ、ここに鶴江の渡しが発着する渡し場で(「八江萩名所図画」に説明あり)、ちよつと今の旧広瀬酒店の角を川に出た辺りがその場所になります。

やがて、明治になると新川に町や工場が建設され、明治になつて、その名も雁島橋が今の旧山中家住宅の前の広い道の先に接続するように整備されます。そして、大正13年(1924)には現在の位置に雁島橋が移設され、浜崎を経由せずに東西を行き来するルートとなり、今では分かりにくくなりましたが、江戸時代の浜崎は鶴江、香川津と一続きの町として繁栄していたことをこの絵図は物語っています。

大槻洋二



浜崎周辺の拡大  
中央に二つの突堤が描かれている。現在の鶴江の渡しの位置は、ほぼ当時と同じであることが分かる。

姥倉運河の開通によって島状になった鶴江台。画面右の小畑方面から香川津、鶴江を通り、画面左の浜崎へと人の流れが続いている。一方で新川周辺は、一面に田畑が描かれている。姥倉ノ図(毛利博物館所蔵)部分に加筆

# 浜崎旧正月提灯まつり 1月20日～2月4日

浜崎の雛飾りに合わせ、旧山村家周辺の軒先に提灯を飾ります。期間中の金・土曜日には21時まで屋外の提灯を点灯します。(屋内の提灯展示は4月3日まで) また、2月4日(土)午後2時頃から、津和野獅子舞パフォーマンス隊「から・らく」が町内を巡行します。地域おこし協力隊 原田透さんの事業です。



浜崎オンラインツアー 11月26日

オンラインツアーとは、インターネットを通して楽しむ疑似旅行です。今回はヨシダキカクに協力をお願いし、生中継で約1時間かけて浜崎を巡りました。長富さんのMCと、あらたくん・まりもちゃんの掛け合いが絶妙で、とてもよい仕上がりになりました。編集後、YouTubeにアップする予定です。浜崎ホームページでお知らせしますのでおたのしみに。



## 住吉神社からのお知らせ



宮司  
中津江瑞穂

住吉様のご加護をいただきありがとうございます。念申し上げま

皆様におかれましては、新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、多くのお力添えいただき誠にありがとうございました。住吉祭の「おあがり」は例年になく厳肅かつ荘厳に納めることが出来ました。本年は「癸卯」よく跳ねて上向く年だそうです。どうか、平素の家の安全や交通安全を始め各祈願にご参拝いただくようお待ち申し上げます。今、本門工事と手水舎整備にかかっておりご迷惑をおかけしております。本門工事手水舎整備費用の予算捻出にあたり、工事費に對するご寄付をお願いしております。二月の節分祭、五月の稲荷祭、八月の住吉祭を例年通りに斎行いたします。ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## あっちゃん先生のひとことアドバイス

まだまだコロナウイルスは終息せずwithコロナ生活様式にも慣れてきたようにも思います。

コロナウイルスに罹患された人も身近に多くなりつつあるのではないのでしょうか。

発熱、咳、鼻水、のどの痛み、コロナウイルスに関わらず、これらは多くの風邪の症状です。今、皆さんはコロナウイルスに対しての意識は高いですよね。しかし今回は長引く咳に隠れているかもしれない病気があるというお話です。

まず、咳チェックをしてみましょう。

- ・天気によって咳がひどくなる
- ・夜間(深夜・寝入りばな)に咳が出る
- ・明け方に咳が出る(咳で目が覚める)
- ・冷たい空気に触れると咳が出る
- ・会話中に咳が出る
- ・エアコンの風に反応して咳が出る
- ・湯気に反応して咳が出る
- ・咳が出るとなかなか止まらず、出ないときは全く出ない
- ・階段の昇り降りや少しの運動で咳が出る
- ・同世代の人と同じペースで歩くのが辛い
- ・呼吸がゼイゼイ、ヒューヒューする

チェック項目が一つでもあれば風邪以外の病気の可能性があります。2週間以上続く咳は肺がんや結核、間質性肺炎、心不全、咳喘息、慢性閉塞性肺疾患(COPD)など重篤な病気の可能性があります。風邪だろうと安易に考えず、専門的な病院を受診することをお勧めします。

長引く咳には受診や治療が必要ですが、蜂蜜とコーヒーで咳の症状が和らぎます。気温と湿度の管理も大切です。そして、うがいとマスク、就寝前と起きてすぐの歯磨きで感染予防をしましょう。仕事や家事の合間に両手を挙げて深呼吸をし、酸素をたくさん吸い込んでください。冬の寒い時期、体調を整えて春を迎えましょう。

わたぬきクリニック院長 綿貫篤志

## はじめまして! まりもです



皆さん、こんにちは! 株式会社ヨシダキカクの大申葉里望です。昨年の10月に萩市へ引っ越してきました。出身は島根県益田市、萩市には小学・中学生の頃に5年間ほど住んでいました。学生時代にお世話になった地域に帰ってきて、小さなことでもお役に立てたらいいなと思っています。

私の主な業務としては、浜崎にある「萩市インキュベーションセンター」の管理と「一棟貸の宿」の管理・運営を行っています。萩市以外の方々と繋がったり、日々浜崎の皆様と過ごす中で「一日一つ感動」することが日課になっています。

浜崎で初めての大仕事「浜崎オンラインツアー」でした。11月26日に実施し、萩市内外の方々にご参加いただきました。しつちよる会にも入会し、新しいことに色々々と挑戦させていただける環境の中で、1年後にはどんな自分になっているのが楽しみです。

これからも勉強しながらポジティブにやっていきます! よろしくお願ひ致します。

◆ 浜崎しつちよる会は、間もなく発足25年を迎えます。いろんな事がありました。よくここまで続けてきたなと自分たちを褒めてあげたいと思います。最近新しい仲間も増えてきました。心強いです。去年はコロナに気を使いながらも、ほぼ全ての行事を開催しました。今年もみんなで頑張ります。よろしくお願ひします。

◆ 編集後記 編集委員: 宮田・川久保・岩崎・石村・平野・末益

